

3. 道路整備の取組

⑥ 奈良中心市街地の交通対策

奈良中心市街地には、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡や文化財が数多く点在し、毎年多くの観光客が訪れています。一方で、特に観光シーズンの土日祝日等には、車で来訪される方が増えることにより、中心市街地での交通渋滞や環境悪化といった課題があります。

そこで、より多くの方に奈良を楽しんでいただきながら、中心市街地の渋滞緩和・環境負荷低減を両立するため、電車やバスなどの公共交通機関で訪れていただくことを呼びかけるとともに、自動車で訪れる方に対しては、パーク＆ライドの取組を行っています。さらにぐるっとバスの運行や木簡型のバス一日乗車券の発行など、公共交通で奈良市内を満喫していただくための事業を実施しています。

出発前における情報提供

○公共交通による来訪の呼びかけ ○パーク＆ライドの呼びかけ



◀公共交通による来訪を
啓発するチラシ・観光雑誌
(平成29年秋の実施例)

パーク＆ライドに関する路上における情報提供 (路側看板による案内)

路上における情報提供▶
(平成29年秋の実施例)



中心市街地を巡るバスの運行及びパーク＆ライド駐車場の開設



▲ぐるっとバス 平城宮跡ルート



▲ぐるっとバス 奈良公園ルート



▲木簡型一日乗車券

(仮称) 登大路バスターミナルの整備

奈良公園中心部への観光バスの乗り入れを抑制し、周辺での交通渋滞の緩和や公園内の周遊環境の向上等を目的として、平成30年度末の開業を目指し、(仮称)登大路バスターミナルの整備に取り組んでいます。奈良公園の玄関口の新たな拠点として、「移動の円滑化」と「奈良の歴史・文化の情報発信と享受」を図ります。



⑦ 自転車利用の促進

本県では、広域的な周遊観光を促進し、滞在型観光の拡大による観光振興・地域活性化を目指すとともに、県民の健康増進や環境にやさしいまちづくり等を進めるために、自転車利用の促進に向けた取組を実施しています。

自転車利用促進に向けた主な取組

- ・京都府、和歌山県と連携し、広域的な自転車道「京奈和自転車道」の整備
- ・県内約600kmのサイクリングルート（愛称：ならクル）における案内誘導・注意喚起のサイン整備
- ・自転車を屋内に保管でき、自転車搬送サービスのとりつぎが可能な「サイクリストにやさしい宿」の認定
- ・サイクリングマップの配布等



▲「ならクル」サイン整備のイメージ



▲サイクリストにやさしい宿



▲サイクリングマップ



▲京奈和自転車道（佐保川区間）

平成29年10月13日
大和郡山山市下三橋町から長安寺町（約4.4km）の間で、京奈和自転車道の一部区間を供用開始。

▲京奈和自転車道

TOPIC トピック

サイクルトレイン

サイクルバスは25ページで掲載しています。

県内の自転車利用促進を図る一環として、JR 天理駅（桜井線）～ JR 五条駅（和歌山線）間で「サイクルトレイン運行社会実験」を、平成 29 年 12 月 16 日に実施しました。

「サイクルトレイン」とは、自転車を専用の袋に収納することなく、そのまま車内に持ち込むことができる列車のことを言います。

（※JR 線、近鉄線の列車内に自転車を持ち込む場合、通常、自転車を折りたたむか解体して専用の袋に完全に収納する必要があります。）



▲サイクルトレイン運行社会実験

3. 道路整備の取組

⑧ わかりやすい道路案内

観光案内看板整備事業

奈良県 観光サイン

検索

観光客のおもてなしを向上するため、県境及び主要交差点での車両系観光案内看板や、各観光エリア内での歩行者系観光案内看板を設置しています。また、平成28年4月に「観光案内サイン整備ガイドライン」を改訂し、県と市町村が統一した基準で観光案内看板設置に取り組んでいます。観光地への的確な誘導及び観光地内でのわかりやすい道路案内を行うことにより、奈良の主要観光地の魅力向上を図ります。

【観光エリア】

奈良公園エリア、平城宮跡エリア、飛鳥エリア、五條新町エリア 他

【観光案内看板設置事例】



◀ 車両系案内看板(主要交差点)
国道25号：大和郡山市横田町交差点付近



歩行者系観光案内看板▶
奈良公園エリア内

⑨ 交通安全対策

奈良県みんなでつくる交通安全対策プラン(平成22年2月策定)

奈良県交通安全対策

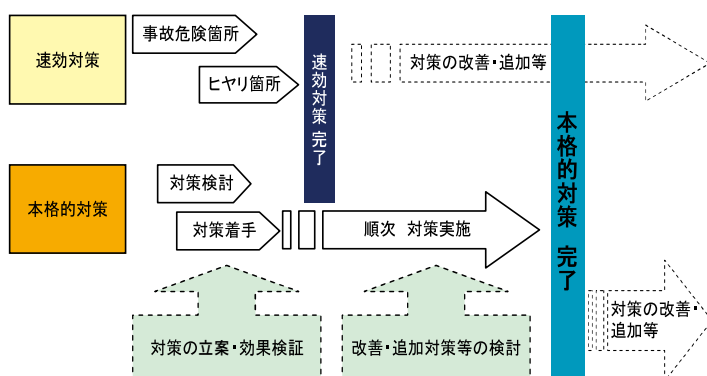
検索

国道や県道で発生する交通事故の対策を効率的・効果的に実施するため、警察などと連携して「奈良県みんなでつくる交通安全対策プラン」を策定しました。事故発生の危険性を早期に解消するため、本プランに基づき重点的に取り組んでいきます。

平成29年1月に新たな事故危険箇所48箇所を追加し、対策に取り組んでいる所です。

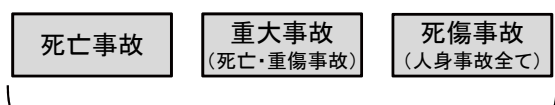
「選択と集中」による交通事故対策の実施

今後の交通事故対策の進め方



交通安全・渋滞対策などについて、客観的なデータに基づいて、効果の高い箇所への選択と集中を宣言

事故対策箇所の選定について



3つの指標に基づき、事故対策箇所を選定

事故対策を実施

県内での対策実施例

速効対策

(道路区域内で可能な対策)

宇陀市大宇陀区白鳥居～下片岡(県道宇太三茶屋線)



見通しの悪いカーブでの
正面衝突事故多発



薄層舗装などの注意喚起
により安全性が向上

本格的対策

(道路拡幅等を伴う対策)

北葛城郡広陵町百済(県道田原本広陵線)



・歩道の設置
・交差点内 導流表示の設置

⑩ 歩行者の安全確保

奈良県安心歩行

検索

奈良県安心歩行空間整備方針(平成23年6月策定)

奈良県では、通学路の歩道整備や駅・病院周辺での歩行空間のバリアフリー化などが遅れています。歩行空間が確保されていない通学路や、駅、病院、観光地の周辺道路などについて、安心して通行できる歩行空間の整備を効率的かつ効果的に推進するため、早期に効果が期待できる速効対策の実施や、休憩用ベンチや観光案内サインの充実など、奈良県における歩行空間整備の基本的な考え方やその進め方を取りまとめました。

歩行空間整備の基本方針

- 「選択と集中」により必要性や緊急性の高い箇所を優先的に整備
- 関係者と連携した歩行空間の点検を通じて、県民や来訪者の目線による安心な歩行空間整備を推進
- 早期の効果実現可能な速効対策から取り組み、地域の協力が得られるところについては抜本対策も実施
- 休憩用ベンチや観光案内サインの設置等、歩行環境も一体的に整備

歩行空間整備への具体的な取組

① 歩行空間が確保されていない通学路

- ・市町村が作成する「通学路交通安全プログラム」に基づき抽出された対策必要箇所について、早期に実施可能な速効対策から着手し、地域の協力が得られた箇所については抜本対策を実施



▲対策事例【奈良市立田原小学校校区(事業主体 奈良県)】

② バリアフリー基本構想における生活関連経路

- ・生活関連経路については、歩道拡幅等の抜本対策を基本とし、ベンチ等の休憩施設をあわせて整備
- ・基本構想の策定に向けて、協議会を設置し、点検を行った経路については、速効対策を実施
- ・未策定の市町村に対し、基本構想の策定に関する情報提供や講習会開催等の技術的な支援を実施
- ・県立施設の周辺等では、県自ら点検や資料提供を行うことで、市町村が基本構想の策定を進めやすいように積極的に協力
- ・基本構想を策定している市町村は橿原市、葛城市、大和郡山市、香芝市、奈良市、河合町(平成29年12月末現在)

③ 世界遺産地域等の周遊観光促進するための経路

- ・世界遺産地域や観光客の多い観光地への経路を対象
- ・関係者と点検を行い、地域の共通課題の「見える化」を行うとともに、観光客へアンケートを実施し、散策道も含めて、面的な観光経路を設定
- ・段差解消等の速効対策や案内サイン、ベンチ等の設置、歩道拡幅等の抜本対策を実施



▲統一された案内看板
(近鉄奈良駅前)



▲歩道にベンチを設置した例
(天理市柳本町)

④ 地域住民等との連携による継続的なPDCAの実施

- ・計画策定(P)、対策実施(D)の後も、より良い歩行空間づくりを目指して、利用者の視点から地域住民等と連携し、効果検証(C)及び改善(A)の状況をフォローアップし、「PDCAサイクル」の取り組みにより、継続的なマネジメントを実施

3. 道路整備の取組

⑪無電柱化の推進

奈良県は景観の阻害要因となる電柱・電線をなくす「景観の向上」、歩行者の支障となる電柱をなくすことで歩道の幅員を広げる「安全性の向上」、地震や台風による電柱の倒壊によって道路を閉塞させない「防災性の向上」などのために無電柱化を進めています。

【無電柱化の目的や効果】

①景観の向上

奈良県は歴史的資産が豊富で、素晴らしい景観に恵まれています。景観を阻害する電柱・電線をなくし、さらに美しい街並みになるように整備を推進します。

②安全性の向上

無電柱化により、歩道の幅員が広くなり、歩行者の安全性や快適性が確保されます。また、お年寄りや、車いす利用者、ベビーカー利用者にとっても障害物となる電柱が除去され、より安全で快適な街並み空間となります。

③防災性の向上

地震、台風、竜巻などの大規模災害が発生した際に、電柱の倒壊や電線の垂れ下がりによる道路の不通、近隣家屋への被害を予防します。



<整備前>



国道369号(奈良市押上町)
<整備後>

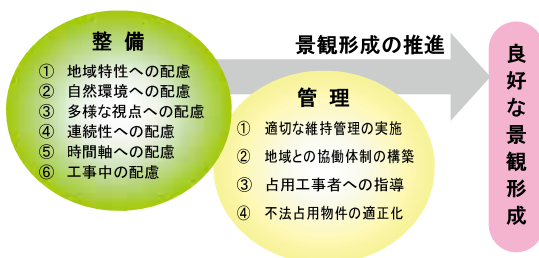
⑫良好な景観の形成

○景観に配慮した道路整備や沿道景観の形成

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産や、それらと一体をなす歴史的風土と豊かな自然環境等を有し、個性豊かな美しい景観が形成されています。道路は、生活や経済活動の基盤であるとともに、景観を形成する重要な要素です。

このため、道路整備に当たっては、「奈良県公共事業景観形成指針」および、景観行政団体である市町村の規定に則り、歴史的なまちなみや自然など、周辺の景観資源に配慮した道路空間の形成を推進しています。また、良好な沿道景観を形成するため、世界遺産にアプローチする幹線道路等については、「奈良県景観計画」において良好な景観形成に重点的に取り組むべき区域と位置づけ、沿道の建築物や広告物等の規制誘導との連携を図っています。

<奈良県公共事業景観形成指針>



沿道景観の形成



▲重点景観形成区域(広域幹線沿道区域)の景観形成イメージ

○花いっぱい推進事業

観光立県を目指す奈良県では、来県者への「おもてなし」として、大和の風景を美しく見せる事業をしています。平城遷都 1300 年祭や全国都市緑化ならフェアの開催を契機に、来訪者の多い観光地や、主要な幹線道路の沿道に、フラワーポットや花壇を設置することで、花と緑で観光客をもてなす空間を提供しています。

〈大宮通りでの整備事例〉



▲二条大路南 1 丁目交差点付近



▲朱雀門前交差点付近



▲二条大路南 5 丁目交差点付近

○みんなで・守ロード事業

奈良県 守ロード

検索

多くの人々が奈良を訪れる「もてなしの心溢れる魅力ある奈良県づくり」を推進するため、地域住民や企業による快適な道路空間の維持・向上に向けての主体的な取組の育成と継続、活動の支援を図るため「みんなで・守ロード事業」を実施し、自分たちの住む地域を愛し、幸せに感じられる地域づくりを推進しています。

【道路保全プログラム】 ……地域住民、企業に参加していただいています。

道路延長500m以上の草刈り・清掃活動。

草刈り面積1㎡あたり14円の報償費を支給します。

傷害・賠償責任保険への加入を支援します。

活動団体名を掲示します。

(H30年1月時点参加団体数・・・76団体)



▲取組風景（県道枚方大和郡山線）

【道路美化プログラム】 ……地域住民、企業に参加していただいています。

道路延長100m以上の清掃活動。

ごみ袋、軍手等の物品を支給（5000円まで）します。

傷害・賠償責任保険への加入を支援します。

活動団体名を掲示します。

(H30年1月時点参加団体数・・・35団体)



▲活動団体名の掲示看板（県道木津横田線）

TOPIC
トピック

大宮通りイルミネーション



▲鹿のイルミネーション



▲奈良中央郵便局前

冬季に奈良県を訪れる観光客への「おもてなし」として、大宮通りのイルミネーションを実施しています。

〔平成 29 年度実施状況〕

期間：平成 29 年 11 月 24 日（金）～

平成 30 年 3 月 14 日（水）

場所：奈良中央郵便局前～高天交差点

3. 道路整備の取組

⑬ 道路の防災・減災対策

安心みちネットプラン

検索

なら安心みちネットプラン～暮らしをつなぐ道路防災～(平成21年12月策定)

奈良県では、効率的・効果的に道路防災を実施するために「なら安心みちネットプラン」を策定しました。

災害の前兆現象の早期発見による「予防対策」や発災後の地域生活・経済への影響をできるだけ少なくするための「減災対策」、迂回路の有無や斜面の危険度を踏まえた危険箇所の「防災対策」として、以下の取組を実施しています。

災害発生時の情報提供を速やかに実施

道路規制情報やライブカメラ画像、道路情報板表示内容の提供をホームページにより行っているほか、より速やかに周知するため規制情報をメール配信しています。

また、和歌山県・三重県の規制情報と連携した「和歌山・奈良・三重道路規制情報ホームページ」により、広域の規制情報が確認できます。

ライブカメラ設置箇所

一般国道165号	宇陀市室生三本松
一般国道166号	桜井市粟原
一般国道166号	吉野郡東吉野村鷺家
一般国道166号	吉野郡東吉野村木津
一般国道166号	吉野郡東吉野村杉谷
一般国道168号	五條市大塔町阪本
一般国道169号	吉野郡川上村伯母谷
一般国道369号	奈良市都祁吐山町
一般国道369号	宇陀市室生田口元上田口
一般国道369号	宇陀郡曽爾村掛



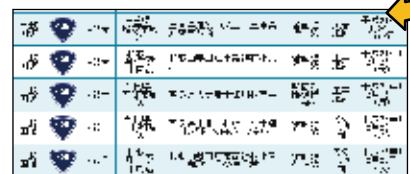
▲奈良県道路規制情報HP



▲和歌山・奈良・三重道路規制情報HP



▲ライブカメラの画像



▲検索結果(例)

災害発生時の初動体制の充実

災害発生時の初動体制の充実や前兆現象箇所の速やかな特定のため、安心みちしるべ(道標)の設置を行っています。



▲安心みちしるべ(道標)の設置

主要な幹線道路の迂回路整備

主要な幹線道路の迂回路を指定し、簡易な舗装修繕や安全対策を事前に実施する事で、地域交通のために発災後3日間で迂回路を利用できるように努めます。



▲迂回路整備



▲迂回路図

TOPIC トピック

台風21号の被害・対応



▲国道169号橿井地区の崩壊土砂



▲復旧工事後

平成29年10月21日に発生した台風21号の影響により、多数の土砂災害が発生しました。それにより、一時は68箇所(10月23日5時時点)が通行止めとなっていました。が、応急復旧工事により、順次、交通解放を行っています。

⑭ 橋梁の老朽化対策

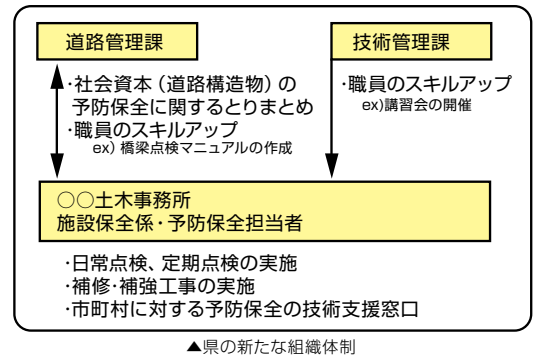
奈良県橋梁長寿命化

検索

奈良県内の橋梁の多くは、高度経済成長期の 1950 年代後半から 1970 年代前半の高度経済成長期に建設され、本県の経済発展に多大な役割を果たしてきましたが、今後、建設後 50 年を経過することで想定していなかった劣化・損傷の危険性が高まっています。

平成 26 年から 5 年に 1 回の近接目視による橋梁の定期点検が義務づけられ、点検・診断の結果に応じて適切な措置を講じることとされました。奈良県では点検・診断の結果、「早期に措置を講ずべき状態」と判定された橋梁を、長寿命化修繕計画に位置付け、次回点検までに計画的に補修を進めています。

今後は、点検・診断・措置・記録といったメンテナンスサイクルを回すとともに、「事後保全」型維持管理から「予防保全」型維持管理への転換を図って行く予定です。



橋梁点検・日常の維持管理の実施

橋梁点検・維持管理を積極的に実施し、損傷の早期発見と劣化・損傷の発生防止に努めています。



▲橋梁の定期点検



▲集水樹の清掃を実施

計画的な橋梁補修の実施

橋梁点検により、発見された損傷については、計画的に補修を実施しています。



▲王寺跨線橋（県道天理王寺線）の補修工事を実施



管理橋梁のデータベースを構築

管理橋梁のデータベースを構築し、橋梁諸元・点検履歴・補修履歴・補修計画の一元管理を行い、次回の点検・補修等に活用しています。

市町村に対する技術支援の実施

『奈良モデル』として、市町村管理橋梁の安全確保および維持管理の効率化を図るため、橋梁点検、長寿命化修繕計画の策定、橋梁補修工事・設計について技術支援を求める市町村に対して県が業務を受託する「垂直補完」を行っており、これまでに 37 市町村の支援をしました。

また、平成 29 年度は奈良県内の道路管理者で構成する「奈良県道路インフラ維持管理連絡協議会」を開催し、維持管理について情報共有や課題解決の連携を図るとともに、橋梁点検及び橋梁補修工事・設計を支援することで、職員の技術力向上を支援しています。



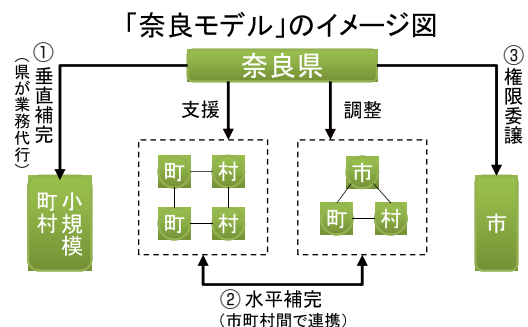
▲協議会風景

～『奈良モデル』とは？～

奈良県では全国に比べて市町村合併が進まなかったことから、規模が小さく組織的・財政的に脆弱な市町村が多くあります。また、今後、人口減少と少子高齢化が進む中で、住民サービスを維持向上させていくためには、行政の効率化を進めていくことが必要です。そこで、奈良県では、県と市町村、市町村同士の連携・協働を図り、奈良県という地域に最適な地方行政の仕組みを目指す取組である「奈良モデル」を、国に先んじて「地方自治の新しい形」として推進しています。

「奈良モデル」とは、県と県内市町村の役割分担を、①～③の観点から進める自治体間連携のあり方です。

- ① 県が小規模な町村を支援したり、業務を受託・代行したりする「垂直補完」
- ② 県が調整し、市町村間で事務の共同処理などをする「水平補完」
- ③ 県からの権限委譲



3. 道路整備の取組

⑮「道の駅」

「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」を基本コンセプトにしています。駅ごとに地方の特色や個性を表現し、文化などの情報発信や様々なイベントを開催することで利用者が楽しめるサービスを提供しています。

「道の駅」の3つの機能

「道の駅」は3つの機能を備えており、24時間無料で利用できる駐車場・トイレなどの「休憩機能」、道路情報・観光情報・緊急医療情報などの「情報発信機能」、文化教養施設・観光レクリエーション施設などの地域振興施設で地域と交流を図る「地域連携機能」があります。

Refresh
休憩機能



▲ふたかみパーク當麻

Information
情報発信機能



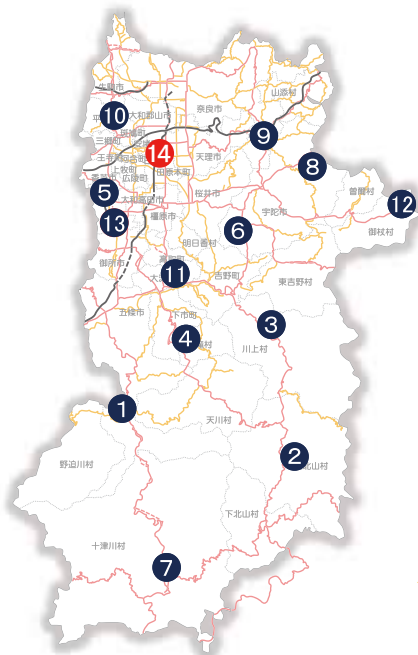
▲吉野路上北山

Community
地域の
連携機能



▲宇陀路室生

奈良県内の「道の駅」



制度発足から20年以上経過し、全国で1,134駅(うち奈良県14駅)
[平成29年11月時点]が登録されています。

- 1 168 吉野路大塔 [五條市]
- 2 169 吉野路上北山 [上北山村]
- 3 169 杉の湯川上 [川上村]
- 4 309 吉野路黒滝 [黒滝村] **特定テーマ型モデル「道の駅」**
- 5 165 ふたかみパーク當麻 [葛城市]
- 6 166 370 宇陀路大宇陀 [宇陀市] **重点「道の駅」候補 ※2**
- 7 168 十津川郷 [十津川村]
- 8 165 宇陀路室生 [宇陀市]
- 9 25 針TRS [奈良市]
- 10 168 大和路へぐり [平群町]
- 11 169 吉野路大淀iセンター [大淀町]
- 12 368 369 伊勢本街道御杖 [御杖村]
- 13 166 かつらぎ [葛城市] **重点「道の駅」 ※**
- 14 24 レスティ唐古・鍵 [田原本町] **重点「道の駅」候補 ※2**

H30.4
オープン

※「重点道の駅」…地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものとして、国土交通省が選定。

※2「重点道の駅候補」…地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるものとして、地方整備局長等が選定。

TOPIC トピック

『吉野路 黒滝』が特定テーマ型モデル「道の駅」認定



平成29年11月、吉野郡黒滝村にある『吉野路 黒滝』が特定テーマ型モデル「道の駅」に認定されました。

全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与するものを、特定テーマ型モデル「道の駅」として国土交通省が認定し、平成29年度は、「地域交通拠点」をテーマとして全国7箇所が選ばれました。

⑬ 地域創生に資するまちづくり ～市町村と連携したまちづくり～

人口の急激な減少と高齢化を背景として、高齢者をはじめとする住民が安心できる健康で快適な生活環境を実現することが重要であり、地域性を活かした、賑わいのある住みよいまちづくりを進めるためには、拠点への都市機能の集積や低未利用地の活用など、拠点を再整備することが必要です。

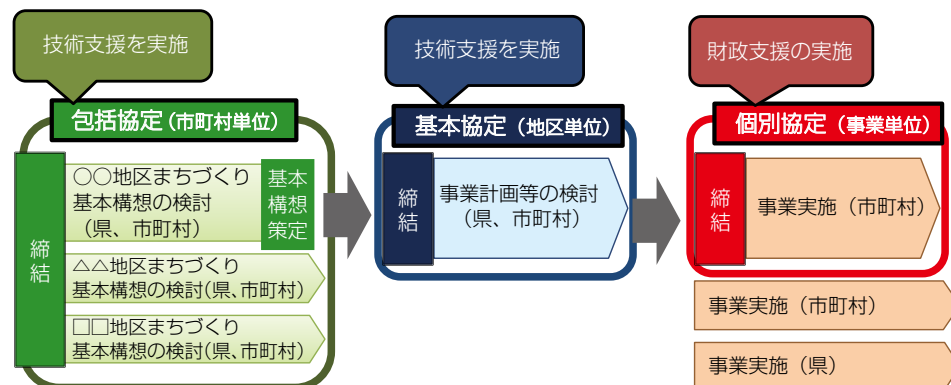
県は広域的な観点から、地域創生に資する駅、病院、社寺、公園などの拠点を中心としたまちづくりを進め、その特色に応じた機能の充実・強化を図るとともに、拠点間相互の連携を強化することによって、県全体として総合力を発揮する都市形成を目指します。

まちづくりに前向きでアイデアや熱意のある市町村において、その方針が県の方針と合致するプロジェクトについては県と市町村で連携協定を締結し、協働でプロジェクトを実施していきます。

奈良県 まちづくり協定

検索

連携協定の進め方 プロジェクトの進捗にあわせ、段階的に協定を締結し、市町村のまちづくりを支援します



包括協定締結市町村（平成30年1月末現在）



- ・H26.10.17 天理市
- ・H26.11.19 大和郡山市
- ・H26.12.22 桜井市
- ・H27.1.23 奈良市
- ・H27.2.20 五條市
- ・H27.3.20 橿原市
- ・H27.7.6 大和高田市
- ・H27.7.31 高取町
- ・H27.8.4 御所市
- ・H27.9.17 三宅町
- ・H27.10.15 明日香村
- ・H27.12.25 宇陀市
- ・H28.2.22 大淀町
- ・H28.8.2 川西町
- ・H28.8.18 王寺町
- ・H28.9.2 御杖村
- ・H29.2.16 川上村
- ・H29.2.27 広陵町
- ・H29.3.14 東吉野村
- ・H29.3.16 十津川村
- ・H29.5.29 田原本町
- ・H29.9.28 上北山村
- ・H29.10.11 吉野町

計23市町村



▲天理駅前広場「コフン」（平成29年4月オープン）



▲Go-Say(ごせ)ラグビーマールシェ(平成29年10月開催)

TOPIC トピック

図柄入りナンバープレート

ナンバープレートを地域振興・観光振興等に活用するため、国土交通省が、観光資源等をナンバープレートの図柄にすることができる制度を策定しました。奈良県においても、奈良を一目でイメージできるナンバープレートの導入を目指し、デザイン案の公募を行ったところ、39作品の応募がありました。

応募されたデザイン案について、県民のみなさま等からご意見をいただき、これを踏まえて「奈良県版図柄入りナンバープレート審査会」において、国土交通省へ提案するデザインを選定しました。

今後、国土交通省において視認性の審査等が行われ、平成30年10月頃から一般に交付が開始される予定です。



▲国土交通省に提案したデザイン